

「きらりと光るまちの人

SMILE UP!

Vol.9

## 厚狭高等学校総合家庭科 2年生のみなさん

「恋する和泉ちゃん」の衣装を製作した高校生

「恋する和泉ちゃん」は、本市にゆかりのある平安時代の歌人「和泉式部」をPRするために、本市在住のキャラクターデザイナーである種田和宏さんが仕上げた、山陽小野田観光協会のPRキャラクター。衣装は、昨年度の3年生が今年1月から製作を始め、今年度は2年生が引き継ぎ、約8か月の期間をかけて完成させた。キャラクターのイラストに、竜王山に飛来する蝶々、アサギマダラが描かれていることから、衣装背面のリボン柄の部分にオーガンジー刺しゅうの17匹の蝶を配置した。この衣装は、10月17日におのだサンパークで開催される「スマイルハロウィンさんようおのだ2021」で、「さんハロPR大使」藤井瑛実加さんが着用してお披露目する予定だ。

「蝶々の羽は針金を使っていて、形を作るところや縫いつけるところがとても難しかった」と江嶋さん。また、平田さんは「蝶々を何度も縫い返したりして大変だったが、決まったテーマからどう発想を広げていくかが楽しかった」と話す。

衣装製作のリーダーを務めた神代さんは、衣装のポイントについて、一人ひとりがオリジナルのデザインの蝶々を作ったところ、と話す。「和泉式部やアサギマダラについて調べて、衣装に合うようなデザインの蝶々を作った。また、袖や衿に何色もの生地を重ねて十二単の要素を取り入れた。細かいところにオリジナリティが込められているので、そういうところにも注目してもらいたいです」



▲恋する和泉ちゃん



Profile・主に衣装製作に携わった生徒のみなさんで、前列左から神代優理さん、江嶋実由さん。後列左から平田美月さん、乾望乃佳さん、川松芽生さん。写真下は、総合家庭科服飾選択者2年生のみなさんと春日由美子教諭、福脇舞教諭。取材時は藍染のブラウスとスカートを製作中。



# えがおがいちばん!!

★対象：小学校就学前までのお子さん

①お子さんの写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②お子さんの名前(ふりがな)③生年月日④年齢⑤性別⑥親の名前⑦郵便番号⑧住所⑨電話番号⑩15文字程度のコメントを記入した申込書を添えて提出(郵送、E-mailでも可)



〒756-8601 山陽小野田市役所  
シティセールス課広報係 ☎82-1148



なかむら ちほ  
中村 知穂ちゃん(10か月)  
何でも口に入れるのがだいすき♡



おがた なぎと  
緒方 柊くん(2か月)・ゆきと  
遅仁くん(2歳)  
ず〜っと仲良しの兄弟でいてね!

